

大井川流域観光地域づくりサロン開催報告

【開催日時】 令和8年5月28日（木）13:30～15:30

【開催場所】 川根文化センター チャリム 21

【参加者】

NPO まちづくり川根の会、地域事業者（RPG 協力事業者）、島田市観光課、
島田市観光協会

【参加人数】 14人

【件名】 川根地域における周遊型コンテンツ「リアル RPG」事業報告

【報告事項】

以下の流れでサロンを開催した。

1. 第2次島田市観光戦略プランの説明（島田市観光課）
2. 地域における観光施策の取り組みについて（島田市観光協会）
3. リアル RPG「野守の池の恋物語」の事業報告（島田市観光協会）
4. 意見交換

○第2次島田市観光戦略プランの説明

島田市観光課より第2次島田市観光戦略プランについての説明を実施

- ・新プランの概要
- ・観光戦略ビジョンについて
- ・アクションプランについて

主に、この3点についての説明と内容に関する質疑応答を実施した。

○地域における観光施策の取り組みについて

地域における観光振興のための施策、観光地域づくりについての考え方について、
参加者と共有した。

○リアル RPG「野守の池の恋物語」の事業報告

参加者実績や買い物した参加者への小判配布枚数やアンケート結果による参加者か
らの意見の共有を行った。

また、事業結果を踏まえた現在実施中の事業について説明した。

○意見交換

- ・ 今回の事業でさくら神社を整備し、とても良い雰囲気になり若い世代の方にも好評だと聞くので、もっと活用していけたら良いと思う。
- ・ さくら神社までの遊歩道を綺麗にすれば、観光客も行きやすくなるのではないか。

- RPG 内で直接的なミッションとなっていないため、来客動機になる仕掛けをしたい。
- RPG 参加者が体験終了後に他店舗に行きたくなる仕掛けを考えることで、周遊の仕組みをさらに活性化させることができる。
- 知り合いを案内すれば、必ず満足してもらえる。地域に観光案内や提案をする仕組みがあればもっと周遊してもらえる。例えば、AI コンシェルジュなど導入するのはどうか。
- 宿泊施設が不足しているのであれば、空き家を活用した宿泊可能数の増加を図る方法はあるだろうか。

